

ヤマト福祉財団 NEWS

ヤマトグループ賛助会員向けニュース(季刊)
発行部数12万部・非売品
YAMATO WELFARE FOUNDATION

No.48

10月20日発行 2015 Autumn



瀬戸理事長が塾長施設を訪問しました
利用者の給料アップ
3万円、5万円、7万円の
壁を越える新たな発想を



(社福) 武蔵野野川福祉会 八幡作業所で、工夫された作業の進め方に感心する瀬戸理事長



2015年度障がい者の
働く場パワーアップフォーラム開催

支援力の違いが、利用者の給料に、暮らしに現れる p08

私たちの賛助会費が活かされています ■障がい者給料増額支援助成金
助成先レポートVol.24 (福島県いわき市)

いわき初のワイナリー いよいよ本格始動! p14

私たちの賛助会費が活かされています ■奨学生レポートVol.9

この運命を乗り越えて——。
障がいゆえに選び、まっしぐらに進む医学の道 p12

[夢へのかけ橋実践塾] 塾生の挑戦 NO.5
待望の弁当事業部を開所 夢・さぼ一と p11

この街で、一緒に生きていく。障がい者のクロネコDM便配達事業
仕事を通してみんなが少しずつ伸びていく。 p16

瀬戸理事長が塾長施設を
訪問しました

利用者の給料アップ、3万円、5万円、7万円の 壁を越える新たな発想を

今年7月に就任した瀬戸理事長は「利用者の働く姿や職場環境、暮らしが実際に拝見したい」と、夢へのかけ橋実践塾の武田塾長、新堂塾長、亀井塾長の各施設を訪問しています。その様子を振り返りながら、三塾の塾長とともに「利用者の給料アップ」に、これからの必要をお話いただきました。

障がいの重さに関係なく
その人らしく働き、暮らす

瀬戸 薫理事長(以下…理事長) 机上のデータ
や知識だけではなく、障がいのある方が実際に
どのような仕事を行っているのか、現場を見て、

たくさんの方の利用者の話を聞くことができた今
回の視察は非常によい勉強となりました。みな
さんありがとうございます。

新堂 薫氏(以下…敬称略) 瀬戸理事長には、
私の施設に最初に訪問していただきました。

理事長 新堂塾長の施設では、たくさんの方が
働かれています。みなさん明るくて、元気に
挨拶してくれる、それがとてもうれしかった
ですね。

新堂 挨拶は、社会人としての基本ですからね。
「おはようございます、失礼します、ありがとうございます
ございます」などがきちんと出来る習慣を身に
つけるようにしています。ですから、朝はまず
みんなで挨拶の練習からはじめます。その後は
ラジオ体操でウォーミングアップ。楽しく仕事
をスタートできるように、みんなの好きな曲を
選びダンスをするなど、職員はひと工夫してい
ます。

理事長 見せていただいたのは、DMの封入封
かん作業の様子でしたね。ここでは細かく工程
が分けられ、障がいの重い、軽いに関係なくみ
んなそれぞれの能力に合った仕事を任せられ
ている。機械操作を担当されている方が、とて
も誇らしげに仕事をされていたのが印象的
でした。

「塾長のみなさんと力を合わせよりよい支援を」



瀬戸 薫理事長

新堂 利用者は、それぞれにできる仕事を担当
していますが、向き不向きもあります。それを
きちんと見抜き、力を発揮できる仕事を割り当
てることも職員の大切な役目です。仕事が楽し
ければ、より技能を高めようと意欲的になりま
すし、自信もつき、成果も給料も上がってい
ます。すると「これが自分の職業だ」と胸を張っ

て言えるようになれます。

理事長 みなさんがやりがいを持って働いて
いるのは、表情、態度に現れています。今回は、
グループホームも拝見させていただきました。今
回は、各人の部屋はそれぞれの趣味が色濃く出
ていて、みんな楽しそうに説明してくれました。
大好きな鉄道関係の資料をたくさん集めてい





新堂塾 塾長 新堂 薫氏
(社会福祉法人武蔵野千川福祉会 常務理事)

●(社福)武蔵野千川福祉会

DMの封入封かん作業を6つの事業所で行っています。事業所ごとに仕事の難易度と給料は段階的に変化。「機能分化」と呼ぶシステムを採用し、利用者は、能力に応じて事業所を選ぶことができます。

「働きたい利用者を支えるのが私たちの役目」

る方、太極拳に凝っている方、英会話の勉強中だという方もいました。自分で稼いだお金で自分のほしいものを買う、そんな喜びが部屋中にあふれていました。

新堂 大切な給料ですので、計画的に使えるようにと、小遣い帳をつけて管理している人もいます。それが難しい人は、レシートを取って置き、職員にチェックしてもらっています。

理事長 いろいろと工夫していますね。各人の部屋には、その人らしきが見える暮らしが、息づいていてと思います。

キビキビとしてだれが利用者か職員が見分けがつかないほど

理事長 亀井塾長の施設を訪ねた時、最初は、だれが利用者か職員か見分けがつきませんでした。それくらいみんなキビキビと働いていました。

亀井(勝氏)以下(敬称略) 見分け方は帽子です。背の高い帽子を被っているのがパティシエの職員。

理事長 それになんといってもお菓子が美味しい！駅前のカフェで販売されていますが、周りのお店に負けていない。多くのお客様が来店されて、利用者が販売員として元気に活躍されていました。

亀井 お菓子づくりは、いろいろな施設が行っていますが、大事なのは、市場競争して勝てるだけの商品力を持つこと。私は、お菓子づくりをはじめると決めた時、まずは職員をお菓子の専門学校に通わせ、プロに育てることからスタートしました。だから準備に時間もかかりました。塾生には、自分たちがつくれるものをつくるのではなく、お客様が求める商品をつくるのか。それはまた買いたいと思える品質なのか。求められる個数をきちんと納期内で生産できているのか。そして原価計算などをしっかり

理事長 利用者にもその考えが浸透していますので、うちの利用者はそれぞれプロ意識を持って仕事に取り組んでいます。たとえば、シュークリームづくりが得意な利用者がいますが、毎日、大きな銅鍋の中のカスタードクリームをかきまわし続けています。非常に力のいる仕事ですが、彼の仕事ぶりにはもう職人技です。

理事長 まさにものづくり、販売の基本ですね。

亀井 残念ながら、福祉施設にはこういった商売のルールを平気で破ってしまうところがある。決められた納期があるのに、行事があるからとか言って守らない。だから「福祉の常識」社会の非常識」と陰で言われるんですよ。私の施設では、約束は絶対です。

理事長 できない言い訳をつくらないと言っことですね。

亀井 利用者にもその考えが浸透していますので、うちの利用者はそれぞれプロ意識を持って仕事に取り組んでいます。たとえば、シュークリームづくりが得意な利用者がいますが、毎日、大きな銅鍋の中のカスタードクリームをかきまわし続けています。非常に力のいる仕事ですが、彼の仕事ぶりにはもう職人技です。

理事長 武田塾長の施設では、豆腐づくりを体験させていただきました。はじめてつくったにしてはなかなかの出来映えだったと思います(笑)。

だれのために、なんのために機械化するのかを考える

はもう職人技です。

(社福)武蔵野千川福祉会

7月2日訪問

瀬戸理事長が最初に訪れたのは、(社福)武蔵野千川福祉会の事業所の一つ『チャレンジャー』です。DMの封入封かん作業に取り組む利用者の姿を前に、新堂塾長より「仕事をどう細分化しているのか、それをスムーズに連携するライン化とはどういうものか」の説明を受けました。さらに他の5事業所も視察。「能力がアップした利用者は、本人の希望に応じて、自分の実力に適した次の事業所にステップアップできる」そんな機能分化の仕組みも理解していきました。障がいの重い方が通う『千川作業所』では、利用者がハイタッチで歓迎。また、グループホームでは、趣味を満喫して充実した生活を送る利用者と歓談もできました。





亀井塾 塾長 亀井 勝氏
(社会福祉法人ひびき福祉会 理事長)

●(社福)ひびき福祉会
「消費者に選ばれる質の高い商品とサービス」を目指し、菓子の製造・販売を柱に事業を展開。他にもウエスの製造、冷凍餃子などの製造、全国の福祉施設から商品を仕入れ販売するなど、四つの事業所で利用者は自分の力を発揮できる仕事に従事します。

「現場の企画をトップは理解してほしい」
「消費者に選ばれる質の高い商品とサービス」を目指し、菓子の製造・販売を柱に事業を展開。他にもウエスの製造、冷凍餃子などの製造、全国の福祉施設から商品を仕入れ販売するなど、四つの事業所で利用者は自分の力を発揮できる仕事に従事します。

「現場の企画をトップは理解してほしい」

武田 元氏(以下：敬称略) 豆腐づくりには人間性が出ます。理事長のつくられた豆腐は優しい味でした(笑)。
理事長 牛タン加工が行われている事業所も拝見しましたが、牛タンの原材料があんなにも大きなものだったとは驚きでした。この牛タンの加工は特別な機械を使われていましたね。
武田 導入したのは、切り取った1枚1枚の牛タンに切り込みを入れる機械です。この作業はいくら利用者が訓練をしてもなかなか上手には行えない難しい職人の作業です。それを機械化することで商品価値を高め、売上を伸ばしました。機械化で生産効率が上がっても、利用者の仕事を奪ったのでは意味がありません。また、きちんと採算が合う設備投資になるのかを計算することも必須です。それができていないとせっかく導入した機械もブルーシートを被ったままになってしまいます。

業と変わりありませんでした。
武田 うちでは、豆腐の売上が約1億円になりました。しかし、これ以上大量に製造するための時間も人数も設備も限界にきています。ではどうやって売上を伸ばすのか。新商品を開発する、販売ルートを変えるなど、いろいろな案が出た中で、私は衛生管理のレベルを上げ、取引先との信頼関係を深めて単価を上げる計画を実行しました。利用者には、手の洗い方、乾燥の仕方、どれくらい時間をかけるのかなど、わかりやすくかつ徹底して指導しています。この衛生管理体制を見た取引先の私たちに對する評価、信頼は大きく変わってきました。施設と企業の取引関係から、企業と企業の対等な取引関係へ、いまはそれから福祉会は新しい一歩を踏み出しています。

売上を伸ばし利用者の給料を上げる方法は違っても3塾の目的は同じ

理事長 みなさんが2年間塾長を務め指導されてきた夢へのかけ橋実践塾の1期生たちも、

9月には修了式を迎えます。それぞれの塾でのテーマや活動について振り返っていただけますか？
新室 私の塾では「工程分け」と「ライン化」により生産性を高め、売上向上と給料増額を目指しました。さらに「わかりやすい職場環境」への改善と「5S整理、整頓、清掃、清潔、躰」の徹底を進めてもらいました。その実現状況を確認するため、塾生たちの施設を一つひとつ訪ね、勉強会も開きました。視察先の施設以外の塾生は、現場の問題点を客観的に分析することで、自分の施設の課題を再認識できたと思います。こうした学びを経て、試行錯誤を繰り返しながらなんと5万円を超える塾生も出てきました。他の塾生たちも成果を上げています。
理事長 亀井塾での取り組みはどのようなものでしたか？
亀井 私はまず塾生に「脱下請け」を呼びかけました。その理由は、これまで福祉施設が受注していた下請け仕事が多く、海外に流れてしまい、売上が縮小し続けているからです。そこで「ものづくり」とはなにかを1から学び、「新たな事業所の顔となる事業」をつくることを目標にしました。ただし福祉施設の職員は、ものづくりの素人ばかりです。たとえば、だれにどんな商品をつくり買ってもらいたいのか、そ

(社福)ひびき福祉会

7月16日訪問

菓子の製造・販売は、(社福)ひびき福祉会の売上の柱となっています。その製造を行っている『ハイワークひびき』を訪問。瀬戸理事長は「利用者と職員の見分けがつかない」と驚くほどテキパキお菓子づくりに励む利用者の姿に感激しました。ここで製造したクッキーやケーキを、駅前で販売する喫茶店『ルタンティール』で試食。亀井塾長の目指す「専門店に負けない品質の高い、また食べたくなる商品」の実力を、実際にその舌で味わいました。他にも『ワークセンターひびき』でウエスの製造を行う利用者の働く姿を、『パレットひびき』では、他の福祉施設でつくる商品を仕入れ販売している様子も見学しました。





武田塾 塾長 武田 元氏
(社会福祉法人はらから福祉会 理事長)

●(社福)はらから福祉会

「月額給料7万円」を目標に8事業所がさまざまな事業を推進。豆腐や牛タンなどの食品の製造・加工・販売、レトルト加工、喫茶店・ラーメン店の経営、リサイクルショップの経営を行い、障がいの重さに関係なく利用者にトップレベルの給料を支払っています。

ようなソフト、設備や機械といったハードを購入するための助成、この両面から応援を続けたいと思います。これからもみなさんどうぞよろしくお願いたします。

3人の塾長 こちらこそよろしくお願いたします。

「利用者は口に出さなくても、高い給料を望んでいる」

これも決まらずに動いているから使っている道具も家庭にあるようなオープンだし、つくるお菓子も趣味でつくるものと大差がない。お客様がお金を出して買いたいと思う商品を、プロはとうやうやつくっているのかを知ってもらうために、パティシエによるお菓子分科会を開きました。塾生たちは真剣に取り組み、新事業を開始したところもいくつかあります。ただ途中リタイアしてしまった塾生もいました。その原因は、トップがしっかりしていなかったから。どんなによい企画を立ててもトップが理解してくれず疲れ果ててしまったのです。施設のトップに立つ者の資質の重要性を、この実践塾で私は痛感しました。

武田 私は事業経営に必要な「当たり前のこと」をきちんと行うこと「それだけ」を話してきました。例えば、P D C A サイクルをやり通すこと。月額3万円の給料を支払うと計画したら、なんとしても実行する。次に実行状況をチェックし、なにか足りなかったのか改善案を考える。そして次の目標を決めてまた動き出す。この内容と

ともに月々の決算をまとめて、毎月私に報告すること、これを塾生の義務としたのです。日々の仕事に追われる中で、やり通すことは大変だったと思いますが、その成果は次第に利用者の給料という数字で現れてきました。現在、5万円には届かなくても3万円近く、2万5000円くらいまで達成できた塾生が半数近くいます。

第2期生を募集し
新体制で実践塾をスタート

新塾 就労事業所にいるのは「働いてもっと収入を得たい」と願う利用者」と「利用者の力を引き出し、プラスへと支援する義務」を持つ職員との二つだけです。

武田 利用者は、いまの給料が1万円前後だと

しても、それを不満だとは口に出しません。でもそれは口に出さないだけで、心の中ではだれもが願っています。ですから、次の武田塾では「2年間で必ず5万円を達成する」という決意のある者だけを集め「5万円必達塾」として再スタートしたいと思います。

亀井 実践塾を巣立っていく第1期生たちの多くは、目標達成の途中です。それを実現するには、今後もしっかりと決意と、時代のニーズを捉え、新しいものを取り入れていく努力が必要です。

理事長 確かに3万円、5万円、7万円の壁を乗り越えていくには、いまのやり方だけではなく新たな発想の転換も必要でしょう。武田塾長は、5万円必達という厳しい目標を掲げられましたが、これに呼応して集まった塾生たちの頑張りに期待しています。亀井塾長と新塾塾長には、10月から新たに参加される熊田塾長とともに、新しい塾を協働してご担当いただきたいと思っています。今後ともヤマト福祉財団は、実践塾の

(社福)はらから福祉会

8月25・26日訪問

いま(社福)はらから福祉会では、食品を扱う全事業所で衛生管理のレベルアップを推進しています。瀬戸理事長は、牛タン加工を行う『えいむ互理』でその徹底ぶりを体験。工場に入る際には、白衣、マスク、長靴を着用し、手洗いの細かな指導も受けました。ここでは福祉施設でものづくりに機械を導入するポイントについても、現場を通して理解を深めました。他にも練り物、惣菜などを製造する『みお七ヶ浜』、パン製造、レトルト加工を行う『くりえいと柴田』、油揚げ、味噌漬け油揚げをつくる『びいんず夢楽多』などの各事業所も訪問。豆腐の製造を行う『蔵王すずしろ』では、豆腐づくりにも挑戦し、武田塾長と一緒に自分でつくった豆腐を試食しました。



2年間の実践塾が修了 新たな挑戦のはじまり

「利用者の給料を3万円、5万円に」を目標に
2年間切磋琢磨し続けてきた武田塾・新塾塾・亀井塾の第1期塾生たち。
その成果報告を含め、9月4日・5日に三つの塾の合同修了式を開催しました。

2年間の成果を全塾生が発表

合同修了式の初日、事業改革モデル化資金の助成を受けた塾生を皮切りに、全41名の塾生がこれまでの成果を発表しました。
5万円という目標を見事に達成



2年間の成果を報告する修了式に、気を引き締める塾生たち

できた事業所、いま一歩届かず歯がゆい思いをしたところなど、結果はそれぞれです。

「PDCA、ライン化、ものづくりのノウハウなど塾長に教えていただいたことを今後も実践し続け、さらに給料増額に励みたい」「かたくなだった職員の考え方も徐々に変わってきた」「なによりも利用者が事業所を『仕事場』として捉えるようになったことが大きな成



武田塾分科会

果」などさまざまな報告がありました。そして「2年間頑張り続けたことは、これからの大きな自信になりました」とだれもが口を揃えて話しています。

塾生たちの成長を見届けにいられたきょうされんの藤井専務理事は「これからは自分の事業所だけではなく、各地域での牽引者としての意識も持ってください」と講評しました。



新塾塾分科会



2年を振り返り気持ちを新たに塾生達

瀬戸理事長は「2年間で5万円という目標はちよつとハードルが高かったかもしれませんが、みなさんの努力の成果はしっかりと数字に現れています。みなさんの挑戦はこれで終わりではありません。今後を上を向いて、利用者のしあ



亀井塾分科会



最後に3塾長から『これからも続けて頑張ってほしい』と言葉を贈られ、1期生の2年間で修了しました

わせを実現するために走り続けてください。私たちは応援します」と呼びかけました。
**塾長のスピリットを継承し
それぞれ新たな一歩を**

翌日は、それぞれ最後の分科会を開きました。塾生たちは、改めてこの2年間で振り返り、本音で意見交換を行いました。中には思うようにできなかった悔しさから言葉に詰まる方も。「あんなにたくさんいた仲間が、この人数になっちゃった」とポツリともらす塾



塾長賞
ブライトハウス住吉 岩下博子さん(武田塾)



塾長賞
第二むつみ園 坂元孝行さん(新堂塾)



最優秀賞
ワークセンター日和山 吉川大幹さん(新堂塾)
私物クリーニングで30人が5万円の給料に到達したことにより受賞



特別賞
高浦作業所 遠藤マツエさん(亀井塾)



特別賞
ふれあいワーク 里崎俊哉さん(武田塾)



塾長賞
きぼうのあさがお 森 桂子さん(亀井塾)

3 塾塾生たちの2年間の成果

平成25年9月と平成27年7月の41施設の売上・平均給料の分布を示しました。

中央値を見ると全体の動向がわかります。

※月額給料3万円が貧困線突破の目安です。

● 売上の推移

平成25年9月

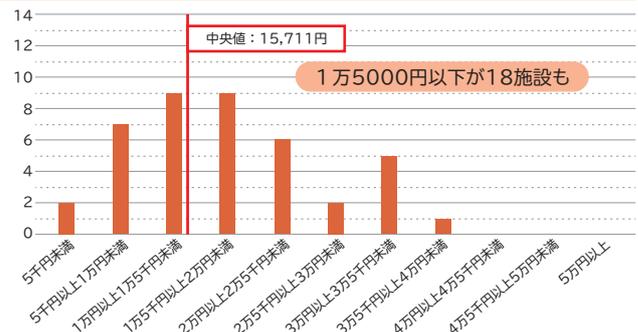


平成27年7月



● 平均月額給料の推移

平成25年9月



平成27年7月



生。しかし「これから先、なにか大変なことがあっても、相談できる仲間ができたことは大きな財産」と塾で築いたつながりを今後も活かし、次の目標達成に向かっていこうと士気を高めました。

そんな塾生たちに武田塾長は、「利用者の給料をなぜ上げなければならぬのか、その意味だけは決して忘れてはいけません。そして事業所の中で繰り返し唱え続けてください。日々の忙しさに流されず、つねにしっかりとした基準を持ち、今後も頑張ってください」とメッセージを贈りました。

新堂塾長は「正直、私にとってもこの2年間はプレッシャーでした。塾長として売上を落とすわけにはいきませんから(笑)。みなさんそれぞれにまだ課題を抱えています。それを達成できるように頑張ってください。壁にぶつかり悩んだ時には、いつでも相談に乗ります」と話しました。

亀井塾長は「私たちは、事業所の顔となる商品づくりを目指してきました。その顔が別嬪か男前かはお客様が決めます。お客様も、時代の流れも、つねに変化していきます。それをしっかり見つけて、これからも利用者のために改善を続けてください」と伝えました。

修了式を終えても、名残惜しくなかなか会場を後にできない塾生たち。それでもそれぞれの決意を胸に、新たな目標に向かって実践塾から巣立っていききました。

支援力の違いが、利用者の給料に、暮らしに現れる



『夢へのかけ橋プロジェクト』の目的は「経済的な自立力を備えた施設へ変わること、より多くの利用者の給料をアップし、夢をかなえていく」ことです。その入り口となるパワーアップフォーラムを7月17日に大阪で、24日に東京で開催しました。



利用者の給料増額のヒントを持ち帰りたいと多くの福祉施設関係者が参加されました



開会の挨拶を述べる瀬戸新理事長

しっかりとした助成金と 仕組みづくりで応援

今年のパワーアップフォーラムは、瀬戸新理事長の挨拶からはじまりました。

「私はこの7月に財団の理事長に就任しました。早速、新堂塾長の千川福祉会を訪れ、福祉の現場を拝見させていただきました。そこでお会いしたのは、自信を持って仕事をし、しっかりと稼いだお金を自分の趣味に使い、人生を楽しんでいる利用者たちです。彼らの姿を見て、障がいのある方たちの給料を3万円、5万円、7万円へと増額することで、世の中全体も明るくなっていくと確信しました。そのためには、福祉施設が経済的自立力をしっかりと備えていかなければなりません。売上を伸ばせる、より多くの利用者が仕事に就ける



障がいのある方の就労支援のあり方を問いかけるきょうされんの藤井専務理事

福祉が雇用ではなく 「福祉も雇用も」の支援へ

事業へと改善するには、計画はもちろん、設備投資も必要です。私たちは、いままで以上にしっかりとした助成金を準備し、みなさんを応援したいと考えています。障がい者の施設はたくさんありますが、一つひとつは弱い存在です。どうやってスクラムを組んで強くしていくか。この仕組みをつくることも我々の大切な使命だと思っています」と挨拶しました。

きょうされんの藤井専務理事は、時流講座で、平成26年に批准された障害者権利条約について解説しながら、今後の就労支援のポイントは「合理的配慮」個別の支援にあると話しています。

「同じ知覚障がいであっても1000人いれば1000人の違いがあります。一般の人と対等に振る舞うためには、一人ひとりに

応じた合理的配慮が必要であり、特に労働面では、よりしっかりとした支援が必要です。『尊厳ある、人間らしい仕事』というディーンセント・ワークには、当然、給料も含まれています。いま福祉施設でできることはなんでしょうか。福祉に比重を置くことで雇用が軽くなり、雇用にも比重を置くことで福祉が軽くなる。という意見は、これまでたくさん出てきましたが、いまやそんなことを言っている状況ではありません。これからは福祉か雇用かで議論するのではなく、福祉も雇用もという『も』でつなぐ関係を進めなければなりません。職員の意識や技術の違いは、利用者の暮らしにそのまま現れています。これからは支援力を問われる時代になると、自覚してくださいと呼びかけました。

給料が上がれば、利用者の暮らしが変わることを実証

次に行われたのは、ジャンプアップ助成金の助成先の代表者による活用事例報告です。大阪会場では「レストラン ララ・ロカレ」の河原美和子さん（NPO法人かたつむりの会代表）が「町家カフェという喫茶店を運営していました。が、もっと利用者の働く場を広げ、給料をアップしたいと、2軒目のレストラン ララ・ロカレを計画

して、この開店資金を助成いただきました。現在、計27人の利用者が働いています。中には社会保険に加入し、10万円を超える給料を得ている方もいます」と報告。東京会場では、「ワークセンター日和山」の吉川大幹さん（社会福祉法人新潟市中央福祉会 支援員）が「助成では、高齢者施設の私物クリーニング専用の乾燥機を購入しました。さらに、実践塾にも参加し、いかにして仕事の効率と売上げを上げ



ジャンプアップ助成金の活用について報告する河原さん



同じく報告を行う吉川さん

るかを学びました。この両輪がかみ合って、現在は、目標にしていた利用者の給料5万円にも到達。利用者は将来への不安も徐々に解消され、暮らし振りも大きく変化しています」と報告しました。

午後の部は、夢へのかけ橋実践塾の3人の塾長による活動報告からスタート。塾生たちの成長と今後の課題をそれぞれ説明しながら、来場者に向かって「大事なのは、一歩踏み出すこと。ためらわずまずは行動を」と呼びかけました。続いて、今年10月から新規開講する熊田塾長が塾の方針などを説明しました（詳しくは次頁）。

この感動を忘れないうちに職場でディスカッションを

最後に行われたのは「経済的な自立力を備えた経営」をテーマにしたシンポジウムです。各塾長と講演・報告をされた方々をシンポジストに、来場者から質問を求め、活発に意見交換を行いました。

大阪会場では「給料増額にどのような事業をはじめたらよいのか。利用者を積極的に仕事に取り組ませる方法とは。販路拡大のノウハウは」などの質問が出ました。東京会場では「働くことに疑問を持つ利用者への説得は。どうす



大阪会場のシンポジウムでは多数の質問が飛び交いました

れば売れる商品がつけられるのか。また、学生参加者からも、障がいのある方が社会で活躍する場をつくるにはどうしたらよいのか」といった質問が飛び交いました。

シンポジストたちは、丁寧に質問に回答。互いの意見を出し合いながら会場全体で「利用者の仕事の拡大と給料増額」という目的と、それを達成するために何をやるべきなのかについて、理解を深めました。コーディネータを務めた藤井氏からは「今日学んだことや課題を忘れないように、施設に戻ったら、早速、他の職員に話し、行動を起こしてください」と呼びかけました。

瀬戸理事長は「今日、講演いただいたみなさんは、障がいのある方が自主的に働く仕組みをつくり、



東京会場では、将来は福祉関連で働きたいという学生の質問も

利用者それぞれに合ったいろいろな仕事を創出されています。彼らの長所を伸ばし、働く喜びを提供する。給料アップにつなげて暮らすの楽しみを広げる。地域で認められ、貢献していく。そんな利用者の姿を見ることが、みなさんのやりがいの一つだと思います。我々は、こうした情報をみなさんに紹介したり、あるいは助成金で設備投資の一部を援助させてもらいながら、障がいのある方たちを、今後も応援し続けたいと考えています」とエールを送りました。

■新しい塾生のエントリー
パワーアップフォーラム終了後、10月よりスタートする「熊田塾」、さらに「新堂塾」「亀井塾」で第2期生となる新たな塾生のエントリーを受け付けました。

農業にチャレンジ！

やりがいのある仕事と給料の拡大へ

第15回小倉昌男賞
受賞者講演(大阪会場)

農業で築いた
協力社会
ここではだれもが
必要不可欠な存在



農事組合法人
共働学舎新得農場
代表 宮嶋 望氏

世の中には、いろんな悩みを持つ人たちがいます。彼らがどうやって生きていけばいいのか。その解決を農場の現場から考え、日本の社会福祉法の枠にとらわれずに37年間活動を続けています。

共働学舎の原点は、競争社会ではなく協力社会を築き、手づくりの生活をしたと語り続けた父の思いです。私はこれを受け継ぎ、協力会というものをつくり、一般の人たちから寄付を集めて牧場を開きました。長野県小谷、北海道留萌郡の小平町と新得町、もう一つは東京の東久留米に通いのワークショップをつくり、計4カ所に140人ほどがメンバーがいます。

いま北海道の新得農場は、110町ほどの土地で74人以上のメンバーが働いています。酪農、チーズ生産、有機野菜栽培、工芸などが収入源です。チーズづくりは、障がいがあり、ゆっくりと働くりズムの人たちに合った仕事です。私たちの「さくら」というチーズは世界のコンクールで金賞、グラランプリを取りました。

ここには、障がいのある方以外にも刑務所や少年院から出て来た方もいます。搾乳をする、チーズをつくる、掃除をする、料理をつくる。メンバー全員が互いの役割を尊重し、だれもがかけがえのない仲間であることを理解して牧場を運営しています。いま世の中が必要とする答えのヒントが、新得農場の中にあると私は信じています。

第15回小倉昌男賞
受賞者講演(東京会場)

自然栽培で
農業を成功
この方法を
全国の施設に広げたい



株式会社パーソナル
アシスタント青空
代表取締役 佐伯康人氏

私たちは、農業、除草剤、肥料を使用しない「自然栽培」で野菜やお米をつくっています。教えていただいたのは、「奇跡のリンゴ」で有名な木村秋則さんです。いま食の安全、安心が問われていますが、JAのお米が1俵60kg8000円のところ、うちのお米は1俵60kg3万6000円。ネットでも即完売し、商品が足りない状態です。

当初、私は農業の経験などまったくありませんでした。当然土地もないので、頭を下げて周りにある耕作放棄地を借り受け、みんな力を合わせて雑草を抜き、土地を耕し、一つひとつ田畑に変えていきました。いまではうちの土地も使ってほしいと声がかかるようになり、うちの利用者が地域の農業を再生することで地域コミュニティを支え、みんなに感謝される存在になっています。わたしには、それが痛快でなりません。

農業を行う者を百姓と呼びますが、その言葉通り、農業には百の仕事があります。同じ仕事をするなら、もっと楽しんでやるほうがいい。利用者それぞれに合った多様な働き方が広がります。いま私には全国に「自然栽培パーティ」というネットワークでつながった仲間がいます。ここには、自然栽培のプロ、流通や販売のプロ、食のプロデュースのプロなどもあります。もしも「うちも自然栽培で農業をはじめたい」という施設があれば、私はどこにでも出かけていきますよ。

農業と福祉をつなぐ 新塾「熊田塾」が開講！



熊田塾塾長
社会福祉法人こころん
常務理事・施設長 熊田芳江氏

「農業と福祉の連携から生まれる新しい職場づくり」をテーマにした塾、それが熊田塾です。熊田塾長の施設(社福)こころんは、農作物の生産だけでなくを伸ばしているわけではありません。廃業する養鶏場を受け継ぎ、そこで生産する卵や鶏肉、また近隣農家が生産する野菜なども材料に、地元企業などと連携し、地域の新たなブランドとなる新商品の開発も行っています。

こころんの利用者は、こうしたさまざまな作業の中からその人の能力に応じた仕事を選び、伸び伸びと働いています。

「いま福祉施設が農業を行うメリットは、非常に大きいと思います。行政も農福連携を後押ししてくれています。大切なのは、地域の方とのネットワークづくりです。それには、いまだ元がどのような状況にあるのか、どのような特長を持っているのかなどをしっかりとリサーチすることです。地元の方にもプラスになる提案ができるように一緒に、いろいろなことを学び、給料増額に取り組みしていきますよ。」

開所式のお祝いに、特別なお弁当を用意



楠元塾で最後に弁当・配食サービス事業を開始した夢・さぼーと



弁当事業の始まりに安全を祈って、火入れ式



現在は、17人いる利用者のうち4人が従事

楠元塾長が行く

考えるのは利用者の給料アップだけ

塾長コメント

この1年間、福原さんの頑張りを見ましたから、本当によかったです。でもこれからが本番！地域の方の声・姿をしっかりと捉えて戦略的に事業を進めていくこと。衛生管理を怠らないこと。迷った時は「利用者の給料アップ」それだけを考えて前に進むことです。他の塾生の姿を見て、なにをやるべきかがわかっているので、きっと成功できると信じています。

弁当事業部「かず味、開所式



塾生の福原さん(左)と開所式に駆けつけた楠元塾長

塾生メモ NPO法人 夢・さぼーと 弁当事業部「かず味」

●楠元塾：1期生 ●対象事業内容：弁当・配食サービス事業 ●平成25年度売上：18,795,823円 ●平成25年総支給額(月額平均給料) 10,810,227円(48,476円) ●利用者人数：17人(平成27年8月現在) ●助成内容：弁当・配食サービス事業の新規立ち上げ資金 ●助成金の種類と金額：平成27年度「夢へのかけ橋」事業改革モデル化資金300万円 ●事業形態：就労継続支援A型・就労移行支援

待望の弁当事業部を開所 夢・さぼーと

試行錯誤を続けながら、未経験の弁当・配食サービス事業の準備に取り組んでいたNPO法人夢・さぼーとが、8月4日、弁当事業部「かず味」を開所。300万円の事業改革モデル化資金で厨房の改装、設備、配送車などを整え、1日弁当200食を目標に第一歩を踏み出しました。

「はラッキーでした」と笑います。

法人設立時には、資金調達に奔走してくれた、当時の副理事長も強力な応援者で、この日もお祝いに駆けつけてくれました。福原さんに「経営者としての自覚を持ちなさい」と営業面を含めて後押しをしてくれています。

8月4日、蝉時雨の中、松楯神社の神主により厳かに火入れ式がはじまりました。

「入塾した時、駄菓子屋をはじめたいと話し、塾長に一喝されたことを思い出します。まったくのゼロ、むしろマイナスからのスタートでした」と塾生の福原和美理事長。

これまで夢・さぼーとが行ってきたのは、味噌と関連商品の製造・販売、アクセサリーの製作、そして地元農家の手伝いなどですが、売上は伸び悩んでいました。「お金がなくて買えないから、ほしいという気持ちもなくなってきた」と話す利用者の生活を給料アップで必ず改善してみせると決意し、楠元塾に入学します。

楠元塾で弁当・配食サービス事業の経験がまったくなかったのは夢・さぼーとだけ。「実績がないため、塾での成果発表などでは肩身が狭かった」と言いながらも「一番最後を走っているおかげで、先行している塾生の成功や失敗を見聞きでき、たくさんのノウハウを吸収できた

「最初、料理長とはコンセプトの食い違いもありましたが、塾長の施設で働く利用者の姿を見たり、弁当事業を始める目的を常に話し合うことで、わかり合えてきたと思います。地域の方にも試食・評価をいただき、彩りや味を改善。毎日食べても飽きない健康弁当で、目指すは1年後に150〜200食、3年後は300食です。どんどん忙しくなり、より多くの利用者が参加して、人員配置に悩むくらいになりたい」と福原さんは燃えています。

学ぶことが楽しいから、実現したい夢があるから……。理想を持って、将来を切り拓こうとしている奨学生の皆さんを訪ねます。

障がい者奨学金制度
社会のために貢献したいと勉学に打ち込んでいる障がいのある大学生に対し、返済不要で月額5万円を助成しています。現在40名が本制度を活用しています。

奨学生レポート

私たちの賛助会費が活かされています

Vol.9

この運命を乗り越えて——。障がいゆえに選り、まっしぐらに進む医学の道

高井 凛^{いさむ}さん 富山大学医学部医学科4年

交通事故が原因で、重度の脊髄損傷を負い、両下肢機能を失う。自己の経験を通じ、患者の気持ちに寄り添える臨床医になることを目指すように。現在は富山大学医学部に在学し、ひたむきな努力を続けている。

■12月に向けて猛勉強中！

医学部のキャンパスを車いすで移動する高井さんは、実直な語り口が印象的な、今風のイケメンです。1日も早く一人前のドクターになることを、何より

の目標に励んでいます。「12月にCBTとOSCE^{オスキ}という二つの大きな試験がありまして。これをパスしないと進級できないので、目前の大きな関門ですね」。

医学部の5年生になると、いよいよ患者さんとも接する「病院実習」のカリキュラムが始まります。二つの試験は、実習生が臨床の現場に参加して大丈夫かどうかを判定する大事なテスト。車の運転免許にたとえると「仮免試験」のようなものです。

趣味にしていたマンドリンや車いすバスケットも、今はお預けにして、もっぱら勉強漬けの毎日です。

■一夜の不意打ち

高校2年の冬、高井さんは交通事故に遭いました。家族と初詣に出た帰り道での出来事です。

後部座席でまどろんでいた高井さんは衝撃で目を覚ましました。車が雪道でスリップ、運悪く対向車が側面、高井さんの座っていた辺りを直撃したのです。

すぐに救急車で運ばれ、ICUで1週間ほど、身体中をチューブでつながれ、ベッドに寝た状態でごましました。

それでも「正直、しばらくは歩けるって信じていて、また陸上ができるだろうと思っていました」。もう歩くことができないか



クラスメイトの広沢さん(写真左)と勉強の進み具合を確認

もしれないと母親から聞かされたのは、入院して1カ月経ったころのこと。
 中学から陸上に打ち込み、県内の駅伝強豪校から高校推薦の引きあいが来たこともありです。「シヨックでした。一生、障がいと付き合っていかなければならない、ということを受け入れるのには時間がかかりました」。

■ 与えられ、与えられる

着替えや入浴、身体の向きを変えること、排泄までも、ほんとのことを看護師の手助けなしにはできない状態に突然陥り、「誰かにしてもらうことばかり。人に負担をかけるだけの存在なのではないか」との思いにも囚われたと言います。
 誰にも相談できない葛藤のう

奨学生のキャンパスにお伺いして
 贈呈式を行いました



後藤佑季さん 慶応義塾大学 商学部 商学科



福澤寛之さん 北海道大学 教育学部 教育学科



青山 舜さん 筑波技術大学 保健科学部 理学療法学科

ちに、しかし高井さんは「生きる活力の源になるような何か」を次第に模索するように…。
 長い入院生活で、人を助ける存在(医師)に魅力を見出すのは、ごく自然のことでした。
 「歩けずとも、頭は使える。陸上への気持ちも勉強に向けて、人の役に立てるのであれば」。

高校復学までに半年を要しましたが、そこから一転、医学部を目指す日々が始まりました。初志貫徹までに3年の浪人生活を経験することになりましたが、気持ちは揺るぎませんでした。
 「予備校の学費など、親には迷惑をかけてしまいました。母はサポートのために仕事を辞めざる

をえませんでしたし…」家族の応援は彼の支えです。
 いまは循環器に興味があるという高井さん。「心臓からの血液の流れなどを視覚的に捉えるところが、僕には面白いんです」。
 車いすに乗った循環器科、高井ドクター誕生の姿が浮かびました。



1日最低3時間は予習、復習にあてています



一人暮らしの家事は全部自分で行うという高井さん。大学の生協で買い物も



私たちの賛助会費が活かされています ■ 障がい者給料増額支援助成金

助成先レポート

Vol.

24

いわき初のワイナリー

いよいよ本格始動！

就労支援センター 未来ファーム
福島県いわき市

「利用者とともに謙虚に我々も育っていく」を心情としてきたと語る未来ファームの今野 隆理理事長。日々の運営のかたわら、「ゆったりと育むワインは、障がい者の仕事にぴったり」と、いつかはワイン生産を夢見ていました。今その思いが花開こうとしています。

いつかはワイナリー

夏の陽射しを浴び、たわわに育ったブドウの収穫にぎわうのは、未来ファームの農園です。利用者の手でやがてワインに姿を変える

大地の恵み。飲み頃は半年後です。いわき市は福島の東南部、太平洋に面し、温暖な気候風土で果樹栽培も盛んです。未来ファームは3年ほど前から、いわき市で初めてとなるワイン醸造所「いわきワイナリー」の立ち上げを準備してきました。

もともと、お弁当の宅配や近隣の草刈り代行などの事業を進めていた同団体は、耕作放棄地を借りて、お弁当やジャムの食材となる作物栽培に励んでいます。東日本大震災の混乱で、活動は一時停滞しましたが、ようやく2013年よりワイン生産の夢に乗り出します。



使い終わった機器はていねいに洗浄。仕込み作業の8割は洗浄と言っている

とはいえ、まったくの未経験者が一朝一夕にできるものではありません。酒類製造免許の取得というハードルもあります。

そして、ついに念願だった酒類製造免許の取得を果たしたのが今年3月のことです。取得にあたっては研修や実績、醸造設備の整備が欠かせません。設備投資は建屋を除き、微発泡酒

自分たちのワインへ一歩ずつ

2年目にあたる昨年は、マスカット・ベリーA、メルロー、シャルドネの3種類を仕込み、前回の3倍近い計900本のボトルを生産しました。

するとこれが「みんな、おいしいね」と言ってくれて、予約がいっぱいになってしまっただけで、途中で小売を止めました。赤は若いけれどブルーティな飲み口。白は香り高くエレガントな仕上がりと上々の評価。



①収穫したメルローを皮ごと除梗機にかけて絞る。仕込みにはボランティアも多く集まります。②搾り出された果汁③この日仕込まれたメルロー④ワイナリー全景⑤果汁からさらに皮などを取り除き、透明な果汁にした後、発酵タンクへ仕込む(白ワインや梨の場合)⑥潰したぶどうの皮や種子と共にタンクに入れ、酵母を加えて発酵(赤ワインの場合)

いっしょに作業したり、PRして、この可能性を応援したい



●ヤマト運輸労働組合 福岡支部執行委員長 佐久間勉さん

5年前にもこの誌面で助成先に訪問しましたが、今回お邪魔した未来ファームには、未来へ向けた壮大な可能性をつよく感じました。私自身、近隣の出身でこのエリアのドライバーを担当したこともあり、「IWAKI」のラベルに脚光が当たることは、障がい者の収入増と復興の表れとして、うれしく思います。

しかしながら、初のいわき産ワインの誕生はまだ、地元の人たちにも十分、伝わっていない気がします。せっかくですから、福祉財団もこの冊子なりを通じて、いわきの広報の方たちにお伝えするなりして、働く障がい者の方の収入が少しでもアップするよう、さらに応援できればよいのかなと思いました。

今日の様子は自分でも写真にも撮りましたので、組合のLINEアカウントを使って、「いかがですか？」と社員に宣伝するつもりです。みんなで収穫祭などのお手伝いにお伺いするのもいいかなと思っています。



佐久間委員長もワインの仕込みをお手伝いさせていただきました



果汁タンクを確認する今野理事長



真新しいサーマルタンクと発酵タンク(右奥)



前日にジュースにしたシャルドネに酵母を入れる



11月に先出しで出荷される予定の「IWAKI 2015」ヌーボー



いくつかに畑を分けて、現在8品種を垣根仕立てで栽培中

る(法定製造数量)に達しないと免許取り消しとなる決まりがあります。果実酒のそれは年6kl。750mlのボトルにして8000本がハードルです。「ブドウの搾汁率はだいたい65〜70%ぐらい。果汁か

ら逆算すると、収穫量が10tくらいないとダメなんです」
まだ、マスカット・ベリーAや甲州のブドウの仕込みも控えています。それでも総計6.5tほど。不足分はナシ4tからつくる微発泡ワインでクリアする計画です。
現在の未来ファームの月給は平均2万215円。本格的なスタートを始めたばかりで、値付け一つとってみても思案中と課題はありますが、目標は「自分たちで10tのブドウを生産できるように。そうして軌道に乗れば、今の倍くらいの給料を出せるんじゃないかと思うんです」
自分たちの手だけで育てたワインが出荷されるのは、11月のヌーボー分。本格的な出荷は来春以降となりますが、純いわき産ワインの登場に、期待は膨らみます。

託を受けたもので、『富士の夢』という品種を2tほど」
取材に訪れた9月には、自家栽培農園のシャルドネとメルローの仕込みが行われていました。収穫祭と銘打ち、一般の方や、2月に設

立されたサポーター(いわき夢ワインを育てる会)の人たちも参加して活気ある雰囲気です。
収穫量アップで基盤の強化を
免許取得後3年間は、国の定める(法定製造数量)に達しないと免許取り消しとなる決まりがあります。果実酒のそれは年6kl。750mlのボトルにして8000本がハードルです。「ブドウの搾汁率はだいたい65〜70%ぐらい。果汁か

の仕込みも可能な耐圧性のサーマルタンクなども備えたため、2500万円ほどの投資が必要でしたが、うち500万円を当財団の助成で賄いました。
いよいよ、自前の設備、自分たち

の力だけで醸造する3年目のスタートです。
最初に仕込んだのは8月のデラウェア。「これは山梨から仕入れたブドウでだいたい1tぐらい。つぎに茨城の農家の集まりから委

この街で、
一緒に生きていく。



公益財団法人ヤマト福祉財団
障がい者のクロネコDM便配達事業

仕事を通して みんなが少しずつ伸びていく。

千葉県千葉市で、最も早くクロネコメール便配達（後にクロネコDM便配達）に携わった、
ワークホーム「海の実」。単独で配達できる2人を含めた、
6人のメイトさんと支援員がひとつになって、丁寧に配達をしています。



住所を書いた付箋に、
数字を書き入れたシール
を配達順に貼ります。



メイトさんとして8年目のベテラン萩原薫さん（左）と伊藤周平さん（右）は手をつないで配達。
萩原さんの夢は、お母さんを旅行に連れて行くこと。

ワークホーム「海の実」

「海の実」が担当するのは、千葉市
中央区の蘇我1丁目と2丁目。A B
C Dと4分割して、すべての家の名
前を書き込んだ分かりやすい地図を
作っています。そこに転居、入居な
どを書き込んで、情報を更新。また、

ワークホーム「海の実」は、200
5年に作業所を開設。最初は移動販
売のパン屋さんを事業の中心にして
いました。おいしいと評判でしたが、
同じ地域を廻るためか、しだいに売
り上げが下降。何か他にみんなので
きる仕事はないかと探していたとき
に、ヤマト福祉財団のホームページ
でメール便配達事業を知ったので
す。2006年、千葉市内の作業所
では初めての、メール便配達事業の
取り組みでした。

住所録のノートも作り、住所で名前
が確認できるようにしています。
毎朝、大きなテーブルを囲むよう
に、A B C Dの担当のメイトさんが
座って、仕分けをスタート。作業所
に一番近いAの半分は、いつも日暮
忠夫さんが担当しています。日暮さ
んは脳梗塞から半身が不自由となり
ましたが、杖を使ってゆっくりと配
達。メイトさんになってから3年半



杖をつきながらゆっくりと配達する日暮忠夫さん。「慣れてくると、逆にうっかり間違ってしまう。同じ名字の家も多いので注意しています」と話します。

●千葉主管支店 蘇我センター

面積4.2km²/人口31,982人/世帯数15,564世帯

●ワークホーム「海の実」

2006年からクロネコメール便配達（DM便配達）を開始。1日の平均配達数約100冊。清掃作業、デコ石けんなどの手づくり品の製作・販売、ウォーターサーバーのキャップのリサイクルなどを行っている。

「障がい者のクロネコDM便配達事業」

参入施設数 318施設 従事者数 1,535人（2015年8月現在）

お問い合わせは……（公財）ヤマト福祉財団 DM便担当

TEL 03-3248-0691 FAX 03-3542-5165

http://www.yamato-fukushi.jp/

※ 2015年4月1日より、クロネコメール便配達にはクロネコDM便配達へと変わりました。



左上／歌が大好きな鈴木陽介さん(左)と同行ボランティアの柳澤秀基さん(右)。上／朝の仕分け作業。ゆっくり丁寧に進めます。左／DM便に付箋を貼っていく藤田浩明さん(左)。



左上／DM便を元気に手渡す伊藤さん。上／緊張しがちな新田真理子さん(右)は少しずつ表情がやわらぎ、配達もできるようになりました。真理子さんの母である支援員の新田美恵子さん(左)と。左／ポストに貼った付箋と住所を確認してから投函する鈴木さん。



「ヤマト運輸の仕分けなどを利用者さんの仕事にできたら、すばらしい。いつかその仕事に就けるかもしれないと思うことが、励みになると思う」と新田恒夫代表(右)。「支援員がサポートしながらでも、なにかの仕事を実現できたらいい」と支援員の伊藤美恵子さん(左)は話します。

な紙に住所を書く、それを伊藤岡平さんが付箋に、なぞるように同じ文字を書き写します。工程がひとつふえるけれど、それによって伊藤さんは文字を写すのがだんだんと早く

なり、数字もきれいに書けるようになったそうです。藤田浩明さんは、D地域のDM便に付箋を貼る作業を担当。DM便をいくつかの山に分けて、ひとつずつ

作業を終わらせていくことにより、集中力が増しました。支援員の伊藤美恵子さんは「本当に少しずつですが、前に進んでいくのがうれしいですね」と語ります。

付箋を使いこなして誤配が激減

「海の実」では付箋を使うのが特徴です。まず、付箋に住所を書いて、ひとつひとつのDM便に貼ります。次に、地図を赤く囲んで、配達先がわかるようにマーク。さらに、配達順に数字を書いたシールを付箋に貼り、地図にも数字を書き入れます。集合住宅へのDM便は、宛名とノートに書き入れたある名前とが合っているかを確認。違った場合は、付箋に「確認」と書きまます。宛先に旧番地が書いてあることもあるので、必ず古い地図で照らし合わせます。加えて、メイトさんの仕分け作業の後には、必ず支援員が再度チェック。注意が必要そうなDM便には、付箋と地図に緑色の印をつけるという慎重さです。

配達先では、付箋をまずポストに貼ります。付箋の宛先とポストの表記が合っているかを確認。端末を操作して投函、その後付箋をはがすというやり方です。

「海の実」の新田恒夫代表は「集合住宅では、ポストが並んでいるので、上か下かに間違っ入れることがあります。このやり方でその間違いを解消できるように。それに職員が

後ろからでも、ひと目でチェックできる利点もあります」と話します。

バッグを空っぽにする達成感

メイトさんの鈴木陽介さんは記憶力がよく、住所と地図だけで、宛先にたどり着くことができます。「空っぽになったよ」と、鈴木さんはすべて配り終えた達成感を、バッグを持ち上げて明るく表現しました。当日はヤマト運輸のドライバー歴28年のベテラン、柳澤秀基さんと一緒に配達。柳澤さんは同行ボランティアとして、休日時々サポートしています。「楽しいし、心が休まります」と話します。鈴木さんは配達が終わると、必ず公園のブランコに乗るのが楽しみ。海援隊の「贈る言葉」を歌う元気な声が響いていました。

夢の実を育てたい

ヤマト運輸千葉主管支店 千葉中央支店 長内基羊副支店長は、「きめ細かいチェックを重ねているから、ほぼ誤配がありません。何か問い合わせがあっても、すぐに答えられるのは、すべてメモしているからなんです。これからも信頼して任せられます」と語ります。

ヤマト運輸千葉主管支店サービスセンター 投函サービス担当 山本一彦係長は「私は障がい者の方を指導した経験があります。1から10の手順を1から100に細分化して、

丁寧に指導する必要があるのです、大変さは分かれます。「海の実」のみなさんに会ってうれしかったのは、この仕事に夢を持って励んでくれていること。私たちももっとできることを考えていきたい」と結びました。

「みんながこの仕事を通して力を高めて、次のステップへ進めたら、新しい夢が生まれる。ヤマト運輸のみなさんと共に、これからも知恵をしばっていききたい」と新田代表も夢を語りまます。そして今日も丁寧に、慎重に、仕分け作業がスタート。「海の実」の元気な朝が始まります。



後列向かって左から／「海の実」支援員金田愛さん、藤田浩明さん、萩原薫さん、日暮忠夫さん、ヤマト運輸千葉主管支店サービスセンター 投函サービス担当 山本一彦係長、ヤマト運輸千葉主管支店 千葉中央支店 長内基羊副支店長、新田真理子さん、「海の実」新田恒夫代表、前列向かって左から／支援員 渡辺紀代美さん、伊藤岡平さん、鈴木陽介さん、高部雅人さん、支援員 新田美恵子さん

いまやチームの一角を担う戦力へと成長した長谷川さん。仲間に頼りにされる喜び、給料で好きなものを買う楽しさなどを知ることで、毎日が充実。笑顔で清掃作業に取り組んでいます。



働く楽しさを知り 頑張るスイッチがONに!

長谷川翔基さん（前列右から2人目）とクリーンチームの同僚。前列右が指導員の東達也さん

■ヤマト自立センター スワン工舎新座 スワン工舎新座 就労に必要なスキルの習得はもちろんです。就労先の開拓からジョブコーチによる就労後のサポートまで一貫したプログラムで、障がい者の自立支援に取り組んでいます。

■スギスマイル株式会社 スギ薬局・ジャパンなどを関東・中部・関西に約1500店舗展開するスギホールディングス株式会社の特例子会社として、障がいのある方が笑顔で働ける仕事を創出しています。障害者雇用率はグループ全体で2.5%です。



クリーンチームの仲間と力を合わせ店舗外周の除草作業も行います



窓拭きは、長谷川さんが一番好きな作業



入社約半年で一通りの清掃作業をマスター

長谷川翔基さん/スギスマイル(株)(平成26年2月1日入社) 初めての給料で家族と食事に出かけました。給料は一部を貯金し、残りで大好きな映画やグループのDVDなどを購入。自分のお金で自由に買い物ができる楽しさを知りました。



「各作業は日替わりでローテーションします。彼もそこに入る実力をつけました」と東さん

みんなに頼りにされると自然に笑顔になります

スギスマイル株式会社では、124名(平成27年4月)の障がいのある方が、グループ会社の社内印刷や事務・情報処理作業などの仕事に取り組んでいます。長谷川さんは、スギ薬局などの店舗に巡回車で出向き、清掃作業を行うクリーンチームに所属(全73人。関東地域は12人)。店舗社員だけでは行き届かない窓、買い物カゴやカート、タイヤなどの清掃、店舗周りの除草作業も行います。

「6人のスタッフに運転手兼指導員が1人というチーム編成です。1日1〜2店舗、2カ月に担当エリアの86店舗をまわります。関東地域はまだ2チームしかありませんが、店舗からの評判は上々で、ぜひうちにも!と担当外の店舗からリクエストも届いています。長谷川さんたちが成長し、周りから評価されることで、いまの私にとって一番の喜びです」と運営部指導員の東達也さん。

この仕事で最も必要なのは、一つの仕事をチームの仲間と協力して



長谷川さんの勤務時間は8:30~16:30。拠点となる事務所で巡回車に乗り込み、その日の担当店舗に向かいます

「長谷川さんは、最初からユニフォーム姿もピタッと決まり、自然とチームに溶け込んでいました。清掃業務は多種多様で工程が複雑なものもありますが、愛嬌のある彼は、先輩たちにかわいがられて着実に仕事を覚えていきました」。

後はもう少し早くきれいに仕上げることができたらと、東さんは長谷川さんの成長を見守っていました。そんなある日、突然仕事への集中力が増して動きもよくなり、これならOKという仕上がりに!

「きれいにすることで店舗に喜んでいただき、給料がもらえるという仕組みは説明していましたが、長谷川さんは給料を手にし、好きなものを自由に買えるようになり、はじめてその仕組みと働く喜びを実感できたのでは」と東さん。

長谷川さんは、大好きなアイドルグループのライブ、握手会に出かけるために貯金もはじめました。「毎日、仕事が楽しい」と笑顔で作業に励む彼は、チームのムードメーカーであり、大切な戦力としてみんなに頼りにされています。

ヤマトグループ労連『夏のカンパ』から
5316万円のご寄付を
いただきました。
ありがとうございました

ヤマト運輸労働組合第70回定期中央大会が、9月10・11日、新潟県南魚沼郡の湯沢カルチャーセンターで開かれ、その中で『夏のカンパ』の贈呈式が行われました。カンパの合計は7316万円で、そのうち5316万円を財団にご寄付いただきました。

財団の瀬戸新理事長はお礼のあいさつで「理事長に就任して早速20カ所の障がい者が働く施設を訪問しました。どの施設でも明るく働く姿が印象的でした。まだまだ隠れ家のような作業所も多いのでみなさんのカンパを無駄にせず、障がいのある方が幸せになれるような施設をもっと増やしていきたいと思っております」と話しました。



◀森下ヤマトグループ労連会長から目録を受け取る瀬戸理事長

2015年ジャンプアップ助成金贈呈施設
(NPO)お菓子屋くれぱす
新店舗が動き出しました

利用者さんの給料アップのため、人通りの多い市街地へ出店を模索していた、お菓子屋くれぱす。念願の2号店、開所式が9月10日に行われました。2号店は黄色の漆喰壁が目印。イートインコーナーもあるベーカリーショップです。総工費は2000万円、ベーカリー設備に当財団の2015年ジャンプアップ助成金を使用しました。「国産小麦・発酵バターを使った体に優しい」自慢のパンやクッキーは、評判も上々。「月間売上70万円、利用者給料3万円を目指したい」と動き出しました。



開所式では、利用者さんをはじめ多くの関係者が集まり、約3mもあるフランスパンをカットして、オープニングセレモニーを行いました

うちわを振ってラッセラー！ 青森ふくしねぶた



東奥日報 2015年8月5日

水稻自然栽培チャレンジ
順調に育っています

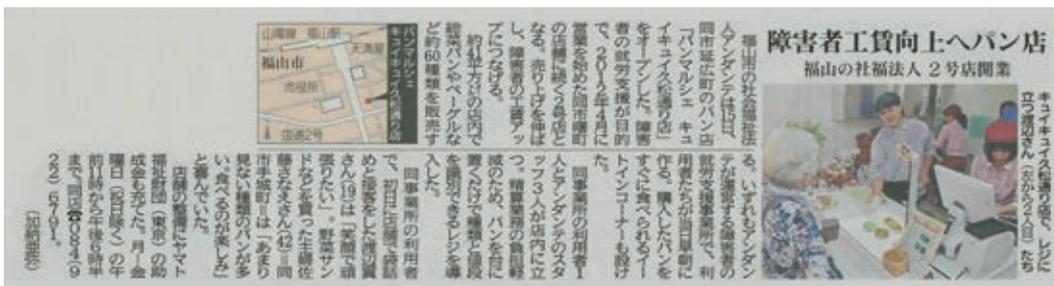


第15回小倉昌男賞受賞者の佐伯康人さんが指導する無農薬・無肥料による水稻自然栽培は、見事に稲穂が育っています。

▶詳細はfacebook『自然栽培パーティ』をご覧ください

無門福祉会(愛知県)

2015年ジャンプアップ助成金贈呈施設
(社福)アンダンテの「パンマルシェ キュイキュイ久松通り店」がオープン



中国新聞 2015年7月16日



Information of the Art

黄金伝説展

— 古代地中海世界の秘宝 —



【イアソン】©RMN-Grand Palais (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF



【腕輪】

Foto © Governatorato dello Stato della Città del Vaticano - Direzione dei Musei, tutti i diritti riservati

■世界最古の金

本展では、ブルガリアで出土した世界最古の金をはじめ、トラキア、ギリシャ、エトルリア、ローマといった優れた古代文明技術を駆使して作成した金製品や黄金をテーマにした絵画を紹介します。
6000年以上前に作られた金製品は年月の影響を受けた他の文化遺産と異なり、現代でも永遠の輝きを保ち続けています。その輝きは古代人と同じように現代人の心も捉えて離さないことでしょう。これらの黄金は人々の記憶に受け継がれて黄金伝説が生まれます。そして黄金は伝説だけでなく、絵画や彫刻にも影響を与え、モロイやフツッソンの名画を生み出したのです。

■古代地中海の秘宝

古代地中海は金細工などの装飾品の宝庫でした。ギリシャ神話でミダス王は「私の体が触れたものがすべてきらめく黄金に変わるように」願いました。この神話を具現するためであるかのように古代ギリシャ人は金線細工が得意技です。
ホメロスは、トロイの戦地に赴いたトラキア王が大きな金器を持ち、黄金で飾られた馬車で駆けつけたと表現しています。昔トラキアだったブルガリアの土地からは「ヴァルチトラン遺宝」と「パナギウシユテ遺宝」という二つの名宝が発見されています。

また、イタリア半島中部ではローマ帝国以前にエトルリアが勢力を奮っていました。エトルリア人は死者を豪華な、精緻を極めた金細工などとともに埋葬しており、近代以降それらが発掘されています。一方、ローマ帝国では「山崩し法」と言われる鉱山開発法が発達し、広範な領土で金を産出しました。この鉱山開発にも着目していきます。

本展で展示する地中海地域の古代文明がもたらした傑作金製品の数々と金を題材とする絵画の両方を存分にお楽しみください。本展の美術品取り扱いにヤマトロジスティクス株式会社は協力してまいります。

開催期間▶2015年10月16日(金)~2016年1月11日(月・祝)
休館日▶毎週月曜日(ただし11月2日、11月23日、1月4日、1月11日は開館)と11月24日(火)、12月28日(月)~1月1日(金)

開催場所▶国立西洋美術館

アクセス▶JR上野駅公園口より徒歩1分

▶京成電鉄京成上野駅より徒歩7分

▶東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩8分

※美術館には駐車場がありません。公園周辺にある有料駐車場を利用ください。

開館時間▶9:30~17:30

※金曜日は20:00まで開館

※入館は閉館の30分前まで

観覧料▶

	一般	大学生	高校生
当日	1600円	1200円	800円

※中学生以下無料

※障がい者とその付添者1名は無料(入館の際に障がい者手帳をご提示ください)

主催▶国立西洋美術館、東京新聞、TBS

後援▶外務省、文化庁、イタリア大使館、オランダ王国大使館、ギリシャ大使館、ドイツ連邦共和国大使館、ブルガリア共和国大使館、BS-TBS、TBSラジオ

特別協賛▶住友金属鉱山

協カ▶アリタリア-イタリア航空、エールフランス航空、KLMオランダ航空、西洋美術振興財団

問い合わせ先▶

TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル)

展覧会公式ホームページ

<http://www.tokyo-np.co.jp/gold/>

宮城県美術館2016年1月22日(金)~3月6日(日)

愛知県美術館(予定)

2016年4月1日(金)~5月29日(日)

スワンのケーキで楽しいクリスマス

お申し込み 11月1日~12月5日

お届け日 12月20日~12月24日

●障がい者施設からもご予約いただけます。

お問い合わせは

(株)スワン 担当:藤野まで

TEL03(3543)1067

<http://www.swanbakery.co.jp/>



リニューアルしたハッピーファンタジアはスポンジもクリームもたっぷり。一押しです!!

サンタさんがやってきました

XA
ハッピーサンタクロース

小麦・卵・乳製品不使用

XF
ハッピーハートベリー
※独立したラインで製造しています。

濃厚★賞沢チョコケーキ

XB
ハッピーショコラ

8つの味から選べる

XC
ハッピーア・ラ・カルト

フルーツ盛りだくさん

XD
ハッピーファンタジア

大人気の定番

XE
ハッピーモンブラン

つたわるフォント

読みやすさを追求した書体

